

電子ジャーナルを使ってみよう

情報メディア教育センター副センター長（図書担当） 名倉 誠

本校図書館のパソコンからは、科学総合誌 Scienceをはじめ、ScienceDirect、SpringerLink、JDreamIIのほかアメリカ物理学会 (APS)、化学会 (ACS)、数学会 (AMS) が発行する電子ジャーナルを読むことができます。例えば Science は有名なジャーナルですが、本校では 1997 年以降誌に掲載された論文のフルテキストが閲覧できます。皆さんも新聞などで「[世界で初めて成功し、米科学誌サイエンスに発表した](#)」のような記事を見かけたことがあると思います。そのサイエンスこそがこのジャーナルです。

では試しに、奈良高専図書館のホームページ左側の「電子ジャーナル」のバナーから辿って、Scienceへアクセス⁽¹⁾してみましょ！ トップページの画面右側には「Science」最新号の目次の抜粋が表示されます。目次には「60ドルで飼い犬の心を垣間見る」とか「水星探査機メッセンジャー搭載中性子分光測量計により水星北極付近に氷が存在する証拠を発見した」など興味をひくタイトルが並んでいますね。もちろん過去の記事を検索することもできるので、ぜひ皆さんも一度、使ってみてください。英語の勉強にもなるはずですよ。

また本校では、アメリカ数学会の MathSciNet も利用できます。これは数理科学分野のほぼすべての研究論文の書評（レビュー）をまとめた雑誌 Mathematical Reviews の WEB 版です。ところで、この MathSciNet では「エルデシュ数」というのが計算できる⁽²⁾のです。エルデシュ数というのは、20 世

紀の著名な数学者エルデシュ⁽³⁾との“距離”を、共著論文をたどって測ったものです。すなわち、エルデシュ自身のエルデシュ数は 0 で、エルデシュ数 n を持つ者と共著論文を書いた人にはエルデシュ数 $n+1$ が付与される、というものです。また、任意の 2 名の研究者の距離を、同様に測ることもできます。こういう遊び心もあるのが、面白いと思いませんか？

勉強にも「遊び心」が大切ですよ。ぜひ皆さんも勉強の息抜きに、いずれは卒業研究で、ぜひ電子ジャーナルを利用してください。

⁽¹⁾ 具体的には、図書館ホームページ左側の [電子ジャーナル] のバナーをクリックすると、本校が購読している電子ジャーナルの一覧が表示されます。この画面で「Science (英語版)」を選べば英語のページが表示されます。(なお英語が苦手な人は、この英語のページ右下の「Science 日本語版 HP」をクリックすれば、日本語が表示されます。)

⁽²⁾ MathSciNet トップページ上部の [Free Tools] [共同研究間隔] と辿り、研究者名を入れる。

⁽³⁾ 数学者エルデシュについては、ポール・ホフマン著「放浪の天才数学者エルデシュ」を読んでみてください。この本はもちろん本校図書館にあります。



研究紀要を電子化します

今年度から、「奈良工業高等専門学校研究紀要」が電子化されます。これまでは冊子に印刷していましたが、今年度以降は、冊子に代わって、論文の PDF ファイルが図書館ホームページで公開されます。過去の論文も順次図書館ホームページにアップロードされる予定です。

奈良高専図書館アーカイブ

9月30日に本校で開催された「青少年のための科学の祭典」奈良大会に併せて、図書館棟2階の大視聴覚室では「第1回奈良高専メディアコンペティション」が開催されました。これは学生チャレンジプロジェクトをはじめ各種コンテストへの取り組みを、各チームがポスターにまとめ、紹介するものです。作成されたポスターは、「奈良高専図書館アーカイブ」として、図書館ホームページに蓄積していく予定です。今の皆さんの取り組みが、今後の多くの後輩たちに良い刺激を与え、彼らを奮起させることを願っています。